# ASSERTAGE BERNELLE BE

平成 26 年 5 月 18 日(日)午後 2 時より、ホテル ハーバー横須賀宴会場において、来賓 4 名、会員 24 名が出席して第18回総会が開催された。

松居会長より「会員皆さん方のご支援により 18 回目の総会を開催することが出来たことに感謝し ます。今後もよろしくお願いいたします。」とあい さつがあり、その後引き続き、会長が議長となり 議案審議に入った。

平成 25 年度事業報告ならびに決算報告、平成 26年度事業計画ならびに予算案、役員の改選につ いてが議題とされ、審議の結果いずれも異議なく 原案通り承認され新役員の紹介がされた。

次に来賓を代表し神奈川県校友会副会長の加藤

恒雄氏から校友会や大学の近況などの報告もまじ

第2部の記念講演は、神奈川県立中央農業高等 学校教諭の竹内睦子氏(東京農大卒)にお越しい ただき「ヤーコンの栽培と普及利用促進について -農業高校生らしい農業クラブへの取り組み-」 と題する講演が行われた。

竹内氏は県立平塚農業高校時代ヤーコン(南米 アンデス山脈地方原産。キク科スマランサス属の 多年草。根にフラクトオリゴ糖が多く、甘みがあ り、食用にされる。) の栽培と普及に尽力された。 農林水産省は農山漁村の活性化のため地域の第 1 次産業とこれに関連する第2次、第3次産業(加 工。販売等) にかかる事業(第6次産業)を推進し ているが、竹内氏はそれを既に授業を通し実践さ れていた。栽培・普及に生徒達をどのよう向かわ



せるか、また消費者へどのように PR したかなど話していただいた。農家との関わり、スーパーへの売り込み等生徒達が頑張ったと話されていたが、その気持ちを引き出す指導といつも前を向いている講演内容に参加者も元気が湧いてきた。 竹内氏は現在中央農業高校で国産小麦の栽培と普及に関わられているとのことであった。益々の活躍を期待している。



後日、下嶋会員から次の歌が寄せられました。 ・ 野菜かと ヤーコン芋に 尚たずね ケーキ・菓子 使われ方の 広さかな こんなにも 繊維が防ぐ 習慣病



記念講演終了後一同で記念撮影を行い、関副会長の司会により第3部の懇親会に移り、梅澤顧問の発声による乾杯の後来賓を囲んで和やかに懇談し、来賓の祝辞、出席者全員の自己紹介と近況報告の後に中山会員(H3学農)の音頭により、学歌を斉唱し、午後6時散会した。 今回は平成25年卒の新会員が参加してくれた、今後も若い人たちが多く参加できる湘南稲桜会として行きたい。

(事務局)

# <新役員紹介>

#### 澤地 理 幹事 (昭和49年 農学科)



皆様こんにちは。澤地理と申します。

昭和49年農学科を卒業。卒業後は横須賀市役所に奉職、平成22年に退職をいたしました。退職後は、地域への恩返しのつもりで町内会に属し1期2年を過ごした後、女房とのんびり過ごしておりましたが、この度、湘南稲桜会を手伝ってもらえないかとのお誘いがあったため、微力ではありますが会のため幹事を引き受けることといたしました。

湘南稲桜会には発足から入会いたしておりましたが、仕事と自身の都合から、なかなか出席ができませんでした。 若いころからお酒を好むところであったため多くの友もでき、学生時代から現在に至るまでお酒で繋がっております。 同期の仲間とは年に一、二度集まり、大いに飲み、大いに語り合っております。(これが結構楽しいんですね。)

しかしながら、多くの同期の方々との飲み会は あるものの、先輩や後輩との交流の場が無いのが ちょっぴり寂しい気分でありましたが、過日行わ れた湘南稲桜会総会に出席して、身近に多くの校 友がおり、やはり、校友会は良いものだと感じた 次第です。今後は、卒業生とはもちろん、現役と も楽しく交流し、更なる会の発展が図れれば幸い と考えております。今後ともよろしくお願いいた します。

# <地区の活動 逗子・葉山地区>

昨年に引き続き逗子・葉山地区の会員が集まり8月30日(土)にバーベキューを開催しました。数日前からの秋雨前線?の影響で天気が心配されましたが朝方からの雨も昼前に上がり10名が参加し楽しく開催することが出来ました。前回より参加者が減りましたが、それぞれが持ち寄った、手料理、葉山牛、美味しい日本酒など堪能し、学生時代の農大の校風、学友などについて年月を超えた楽しい思い出話などで楽しいひと時を過ごせました。総会や研修会とは一味変わった校友の集まりでした。会場を提供していただいた鈴木久彌会員、朝から設営していただいた鈴木由美会員とお嬢様有難うございました。



会の活動の活性化や会員増強のため他地区でも このような行事が開催され普段あまり総会や研修 会に参加できない校友が多く参加できればよいな と感じられた一日でした。



(事務局)

# < 神奈川県校友会並びに 県下他地区校友会の動向>

神奈川県校友会(東京農業大学校友会神奈川県 支部)役員会が7月10日(木)に開催された。議 題は、「平成25年度事業計画及び収支決算報告」、 「校友会本部代議員の選出について(平成27年度改選)」、「創立125周年記念事業資金募金協力の取り組みについて」、「その他」。本部代議員の選出については、次回から1名減となる。その他において湘南稲桜会の事業活動を説明し、予算が厳しくこのまま推移すると活動が円滑に進まなくなる旨報告し、県支部における助成制度の新設を要望したが、県支部の問題と云うより校友会全体のことであるので、本部への要望となる。関東・甲信越ブロック会議へ要望するということになった。

県下他地区校友会状況

西湘常磐松会: 鍵和田会長

日時:6月7日(土) 午後4時より

場所:小田原万葉の湯 2F

湘南なぎさ会:神田会長

日時:7月5日(土)午後3時より 場所:藤沢市民会館3F 松の間 講演会 「調味食品、発酵について」

講 師:東京農大准教授 前橋健二先生(応用生

物科学醸造学科)

総会終了後は講演会やすぐ懇親会に入ることもありますが、各支部とも会員の増強について名案の無い手探り状態が続いている。

(事務局)

# <地区からのたより> --鎌倉地区から---

柳田憲作 (H9 短緑)



残暑の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか? 今夏は35度を超える猛暑、初夏の台風、西日本の豪雨被害等々、気候の変動が一層強まっている事を感じる、厳しい夏となりました。この文章が皆さまのお手元に届くころには、秋の気配が感じられますでしょうか。 この夏は逗子の市条例による海水浴場の規制強化、それにともなう鎌倉 以西への海水浴客の移動が話題となりました。賛 否両論ありますが、今後も様々な意見を交えて、 より多くの方が納得できる方向に進む事を願って おります。現在私は訪問医療マッサージの仕事を しております。 外出が困難な高齢者の方をメイ ンに、痛みの緩和や日常生活動作の改善を目的と したマッサージを医療保険を使って行っています。 医師の同意書にもとづき施術を行うため、健常な 方に行うマッサージと比べて、より医療としての 性格が強いものとなっています。日々こうした仕 事をしておりますと、患者様の状態を細かく観察 したり、気候による影響を考慮したりしますので、 私たちが学んだ農業に近い物があるように感じま す。現在のマッサージ師の仕事は農大で学んだこ とと直接関係はないのですが、自然科学の知識や 考え方は今の仕事に大変役立っていると感じてい さて、最近までは湘南地区で治療院を持 たない出張専門の施術者として活動していました が、この秋に母の実家がある埼玉県で治療院を開 業する運びとなりました。 長年住み慣れた鎌倉 を離れるのはさびしいですが、新しい生活に向け て心機一転、頑張りたいと思います。 会の皆さまの、今後ますますのご健康とご活躍を 願っております

# <会員の活動紹介>

# 一男の料理教室講師一 江間三恵子(S39 学栄)

横須賀市サポートセンターで「ひくてあまたの お父さんプロジェクト」がスタートしました。家 族のため社会のため、一生懸命働いてきたお父さ んたち、定年後は充実した人生を送っているでし ようか?悠々自適もよいですが、地元横須賀のこ とを少しだけ気にしてみませんか?地域社会は今、 高齢化し、市民活動の中心が70歳代になっていま す。地域は、みなさんの力を必要としているので す。このプロジェクトはそんな地域の課題を解決 したい横須賀のマッチングプロジェクトです。こ のプロジェクトには「育じいのすすめ」、「作業所 でボランティア」、「手作りオモチャの会」、など多 くのプロジェクトがありますが、「お父さん厨房 に入る。(男の料理教室)」があります。その講師 を神奈川県栄養士会第4活動事業部横須賀支部長 の当会監事の江間三恵子氏(S39 学栄)が引き受 け活動を開始しました。第1回目の3月28日から 毎月1回実施して第9回目は10月31日10時から 開かれます。初級クラスなので多くの方のご参加 をお待ちしていますとのことです。参加者は一般 の方のほかに当会からも松居会長をはじめ小清水

副会長、下嶋、清水の会員が参加しています。



自分達で作った少しいびつで焦げ付いた餃子を肴に楽しい会話もはずみます。何品かマスターし「お父さん」、「おじいちゃん」の株を上げたらどうでしょうか。参加希望の方は事務局までご連絡下さい。 (事務局 清水)

#### 一親子展-

#### 関 恵梨子(S50 学栄)

平成26年5月4日~10日東京の有楽町にある交通会館1階にある、パールルームを借り切って、86歳の私の母(アイコ)、私、(恵梨子)と娘(葉子)の親子三代の日本画の親子展を開催いたしました。



「永い年月の間、四季折々の自然を描きました。未熟な作品ですがご高覧頂ければ幸いです。」と銘打ち、高齢の母への最初で最後の日本画の個展を、彼女が健康でいる間にと母の日を前に親孝行の意味で企画いたしました。150人位の方々に見に来て頂きました。皆様のご支援のおかげで、満足いく個展が出来ました。いらして下さった方々には感謝申し上げます。母も懐かしい教え子たちには感謝申し上げます。母も懐かしい教え子たちにはをえとても喜びました。「関さんの娘さんはお母いんを抜いていくよ。」とも言われ私としては嬉しい限りです。「青は藍より出でて、藍より青し」と言いますが、私はまだまだ母には技量が追いつけませんが、今後も精進していくつもりです。

#### <新コーナーの案内>

今回から会員皆様の業、趣味、特技等、自分を PRする欄を設けました。事前に事務局へご連絡 下さい。積極的にご参加ください、お待ちしてお ります。今回は、幹事の下嶋氏に寄稿いただきま した。

#### <私のつぶやき>

下嶋武志 (S45 学造)

専門と離れた仕事を7年前退職、測量士補を活かし、時たまアルバイトをする年金生活です。幼い頃、体と頭も弱く体育が特に苦手、20才頃一念発起し体だけは鍛えようと倹しき学生服の成人式後、寒中水泳、他に下手の横好きでスキー、自転車、ジョギング、富士山弾丸登山7回等経験の結果、C級スポーツ指導員(水泳)、日本陸連S級審判員、SAJバッジ2級、アマチュア自転車3級(1000mタイムトライアル 1分21秒4 30kmタイムトライアル 51分11秒0)を取得、認定、旧体育指導員を経験後、活性酸素の害と知的生活との落差に驚愕反省、健康のもとはスポーツより食であると自覚、また専門外の栄養・料理に関心を向けている。

専門に 人生全て 見倣され

# 〈会員からのたより〉

第 18 回総会の出欠席回答はがきに寄せられた会員のたよりをお伝えします。 敬称略(事務局)

#### (横須賀地区)

- ・原島 純憲 (S26 学農) 五体満足にて生存中
- ・石橋 順作 (S34 学林) 天気の良い日は観音崎公園を散歩しておりま す。
- ・江間 三恵子 (S39 学栄) (公社) 神奈川県栄養士会第 4 活動事業部横 須賀支部長になりました。
- ・林 輝幸 (S49 学造) 当日は全社の慰労会が立川で予定されており 残念ですが欠席させていただきます。
- ・菊本 充 (S58 農経) 当日は地元少年ソフトの試合があり出席できません。申訳ございません、総会の盛会を祈念しております。
- ・湖水 康史(S62 学農)XPのサポート終了とかでパソコンを買い換えようと思いつつも、忙しくなかなか手が廻らず未だ古いパソコンを使いつづけています。

#### ・中山 大海 (H3 学農)

11年ぶりに職場が三浦半島地区事務所に戻って来ました。今回は普及の仕事ですが、古巣でもありますので道に迷う事がないのが良いです。

#### • 原田 義和 (H3 短農)

最近、総会・視察にも出席できていなかった ので出席したかったのですが仕事場を空けら れず今回も欠席します。

• 齋藤 道生 (H13 学工)

都合がつかず欠席いたします、申し訳ござい ません。伊豆大島での暮らしも8年目です。

#### (逗子地区)

- ・佐藤 誠吾 (S37 学農) 体調が十分でなく出席できず申し訳ありません。
- ・関 恵梨子(S50学栄) 5月4日~10日まで86歳の母と私と娘の親子 三代、長い年月の間、四季折々の自然を描い た親子展を有楽町交通会館内で(日本画展) 行っています。
- ・鈴木 由美 (H1 学造) いつもお世話になっております。あいにく先 約があり出席できません。

# <会費納入・会員増強のお願い>

日頃より会の運営に対して、ご支援・ご協力い ただき誠に有難うございます。私たちの活動は、 会員さんからの会費と寄付に支えられています。 その内訳は①湘南稲桜会だよりの刊行、②研修会 の開催、③総会での講演会、④箱根駅伝応援、⑤ その他会の事業運営にあてられます。 をさらに広げて行くためにも、引き続き会員の継 続と会費の納入をお願い申し上げる次第です。若 者の入会者が皆無の現状で、会員の高齢化が進ん でおります。常にアンテナを張り巡らして、お知 り合いや友人の中から農大卒業生の情報を知った ら是非、紹介して頂き、そして入会を勧めて下さ い。勧めることが苦手な方は、事務局にチラシが ありますので、利用して下さい。一人でも多くの 会員が増え、全会員が積極的に活動に参加すれば, 会に活気と多様性があふれ、会員基盤がさらに広 がると思います。私たち役員も入会したくなるよ うな、魅力的な会にするよう努力して参りますの で、ご協力くださいますようよろしくお願い申し 上げます。 (会員增強対策委員会)

# <平成26年度研修会開催のお知らせ>

本年度の研修会スケジュールが下記の通り 決まりました。

今回は神代植物園、深大寺、郷土の森博物館とサントリー武蔵野ビール工場の見学を計画しました。神代植物園はちょうどバラの花が見ごろのようです。ご家族・お友達お誘いの上ご参加くださいますようご案内申し上げます。今回もバスによるツアーです。

- 1 日時 平成 26 年 10 月 25 日 (十)
- 2 行程 横須賀→逗子→神代植物園→ 深大寺(昼食:深大寺そば)→郷土の森 博物館→サントリー武蔵野ビール工場→ 逗子→横須賀
- 3 集合時間・場所 午前 7 時 30 分 横須賀中央 NTT ドコモ前 午前 8 時 逗子市役所前
- 4 帰着時間 午後 6 時 30 分 逗子市役所前 午後 7 時 横須賀中央 NTT ドコモ前
- 5 参加費 5,000 円
- 6 申し込み 別途はがきにて 10 月 15 日 (水)まで
- \*詳しくは別紙研修案内をご覧ください。

尚 又道路事情もありますので帰着時間は 前後することもご了承ください。



(神代植物園)

# く編集後記>

稲桜会だより32号をお届けします。

今年の夏は猛暑、真夏日が続き残暑が厳しいと思われましたが、9月に入るや秋の気配が漂ってきました。気象庁は「平成26年8月豪雨」と名付け降れば洪水・吹けば竜巻と極端な気象が地球上で顕著になってきました。広島市での土砂災害しかも真夜中に発生し、多くの人命と財産が失われました。原因は異常気象であると思いますが自然に対し無力感だけが残ります。

さて農業の現状と 30 年後の市町村人口はどうなるのか!政府が 5 月に閣議決定した 2013 年度の食料・農業・農村白書(農業白書)の概要は以下の通り

#### 1.30年後の市町村人口

農林漁業に従事する人の割合が高い市町村ほど 人口減が顕著に進むという国立社会保障・人口問 題研究所の推計に基づき計算した。就業人口の 10%以上を占める農業が盛んな地域では、30年後 の人口が現在の7割弱に落ち込むと推測していま す担い手確保が急務であり、農業生産活動の弱体 化や農村が崩壊する可能性があると懸念している。 本年の白書は食糧・農業・農村基本計画で「人口 減にどう対応するか」が大きなテーマとなってお り、これに関連して上記のように述べています。

#### 2.65歳以上の単身世帯

将来の食料消費を見通すため、今後増加する見込みの 65 歳以上の食料消費の支出を 13 年と 03 年で比較したところ、生鮮食品は 6.8%減、サラダや天ぷら、フライ等の調理品は 9.5%増と「簡単な食事が好まれている」と分析。対策として「単身、高齢者世帯のニーズにかなった食品、農産物の生産を推進することが重要と指摘している。

#### 3. 農政改革のグランドデザイン

「農林水産業・地域の活動創造プラン」により 10年間で農業・農村全体の所得倍増を目指す。推 進方策として①農地中間管理機構(農地集積バン ク)の創設 ②経営所得安定対策の見直し ③米 政策の見直し ④日本型直接支払制度の創設。4 つの改革を示し、担い手の利用面積は上昇、法人 経営は順調に伸び 14,600 社、新規就農者 56,000 人、(青年就農給付金効果で 39 歳以下 15,000 人) 若者の関心が農業に向いてきている光明が見出さ れる。

白書では農業の構造改革を進める強い意志を示していますが、政府が進める農政改革が現場の実態とはかけ離れている事実も見逃してはならないと思います。 (M. K)